

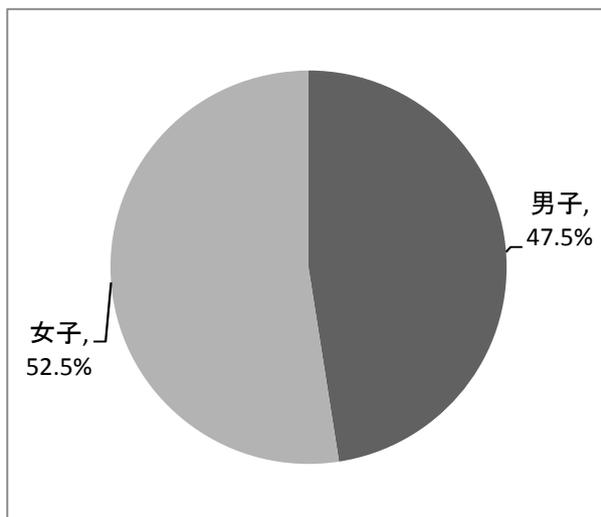
徳島県に関する県内高校生アンケート

1. 調査対象 県内高等学校に在学する高校生

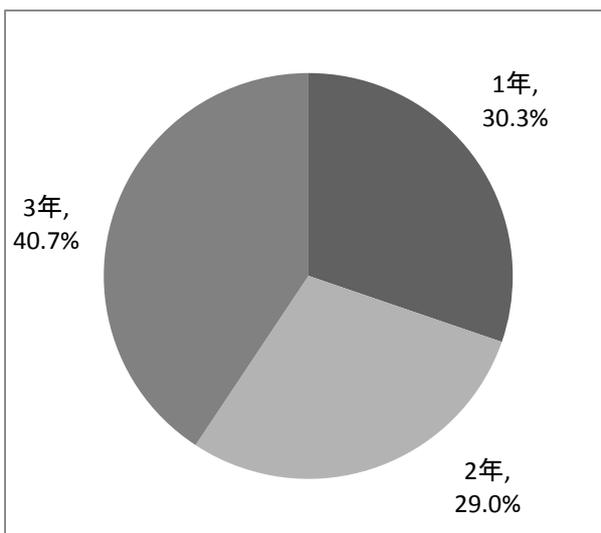
2. 調査数 1,420人

3. 調査対象の構成

(1)性別

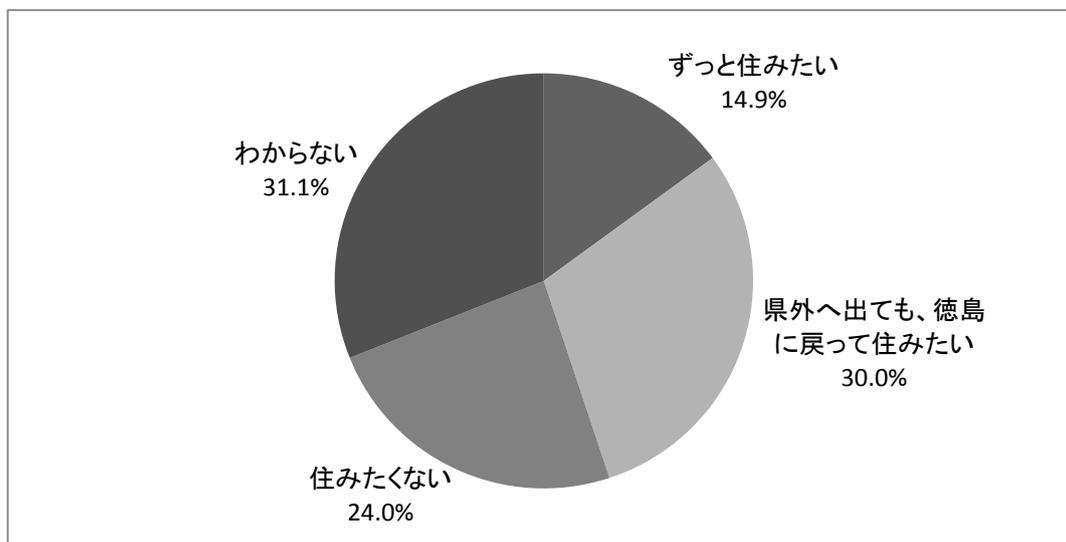


(2)学年

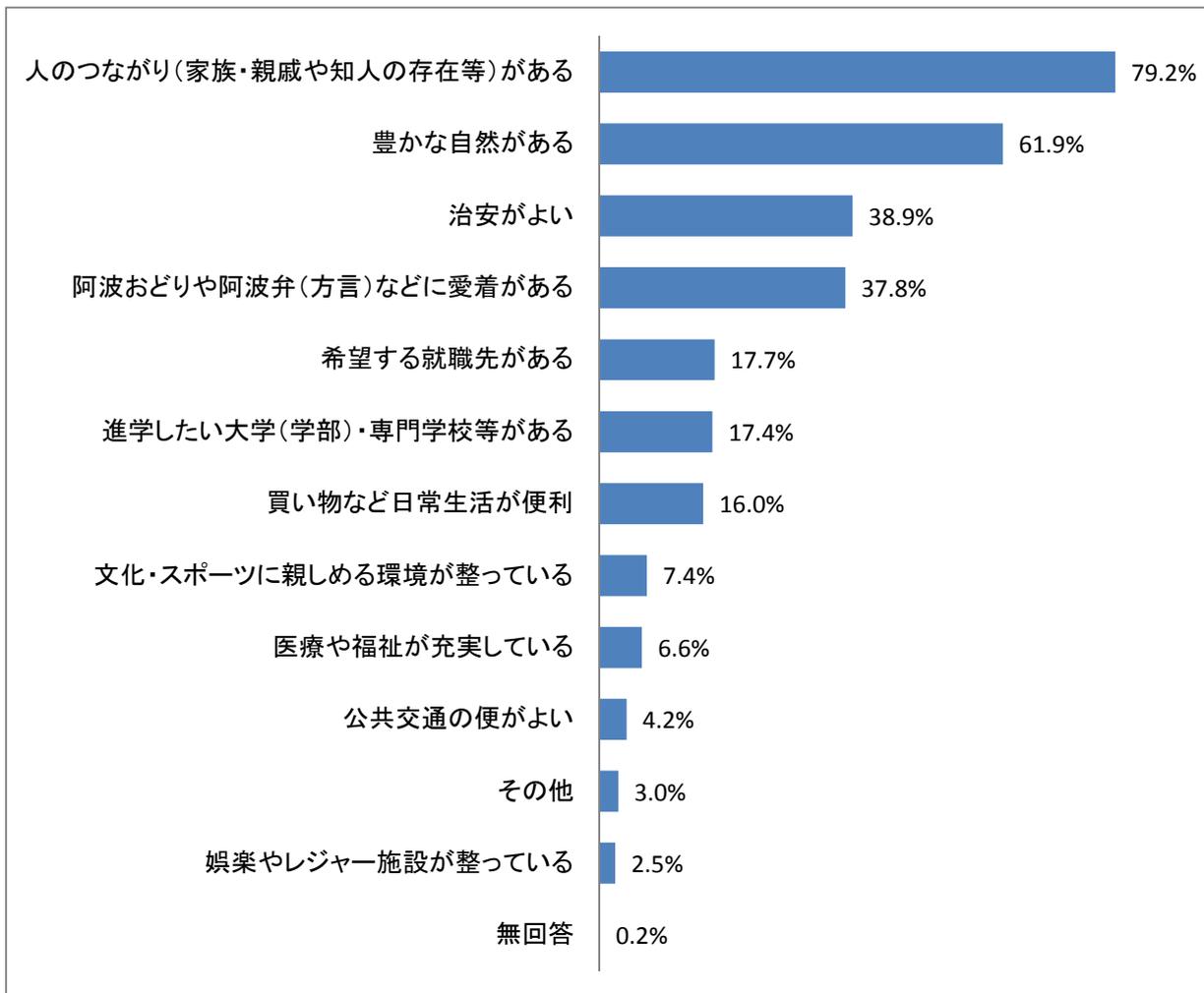


4. 調査結果

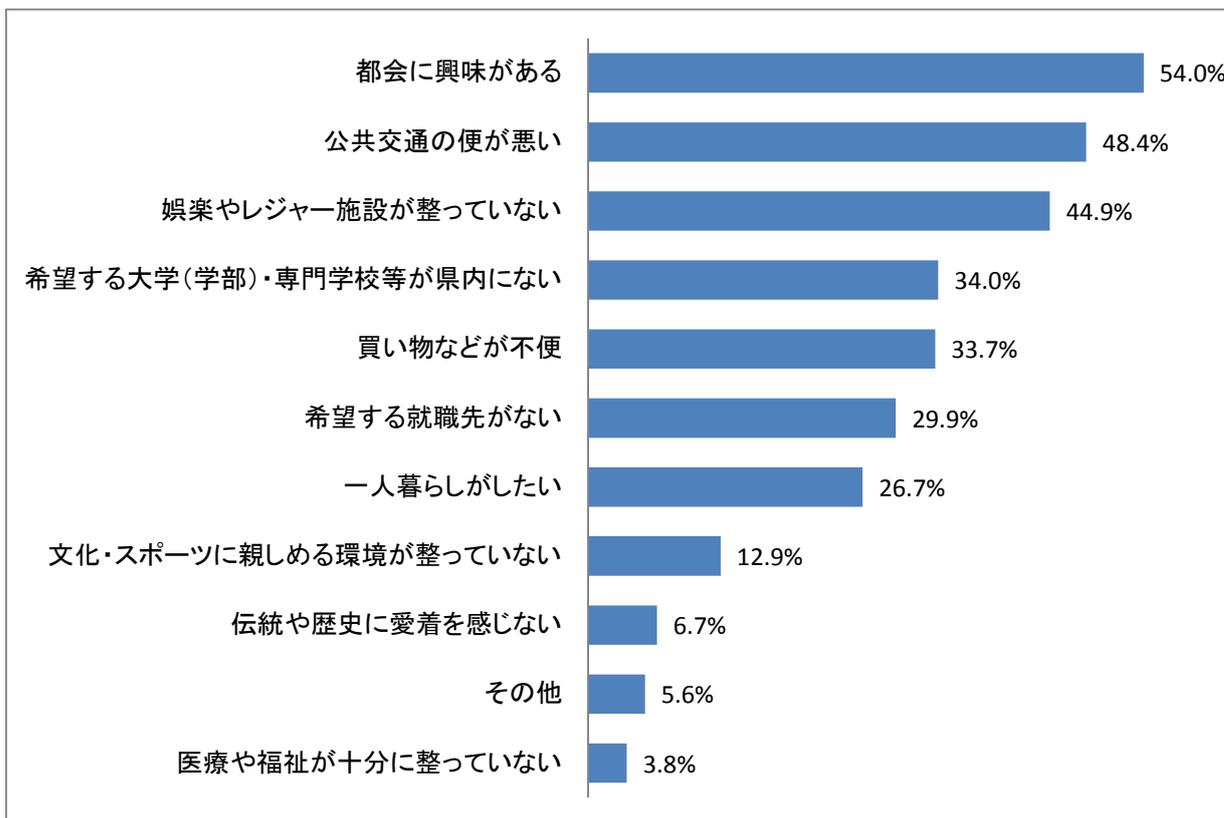
(1)徳島県への定住志向について



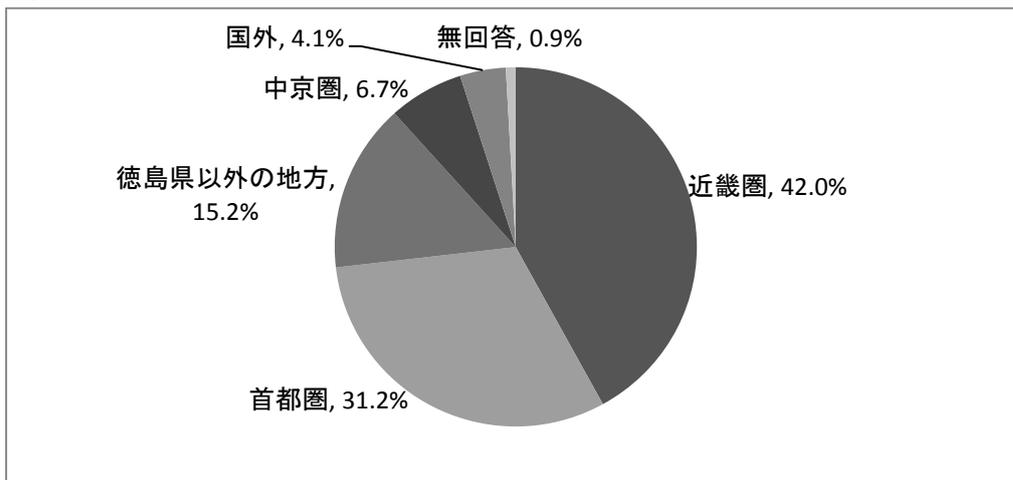
(2) 徳島県に定住したい理由について(最大3つ選択)



(3) 徳島県に定住したくない理由について(最大3つ選択)



(4) 徳島県に定住したくない場合に希望する居住地について

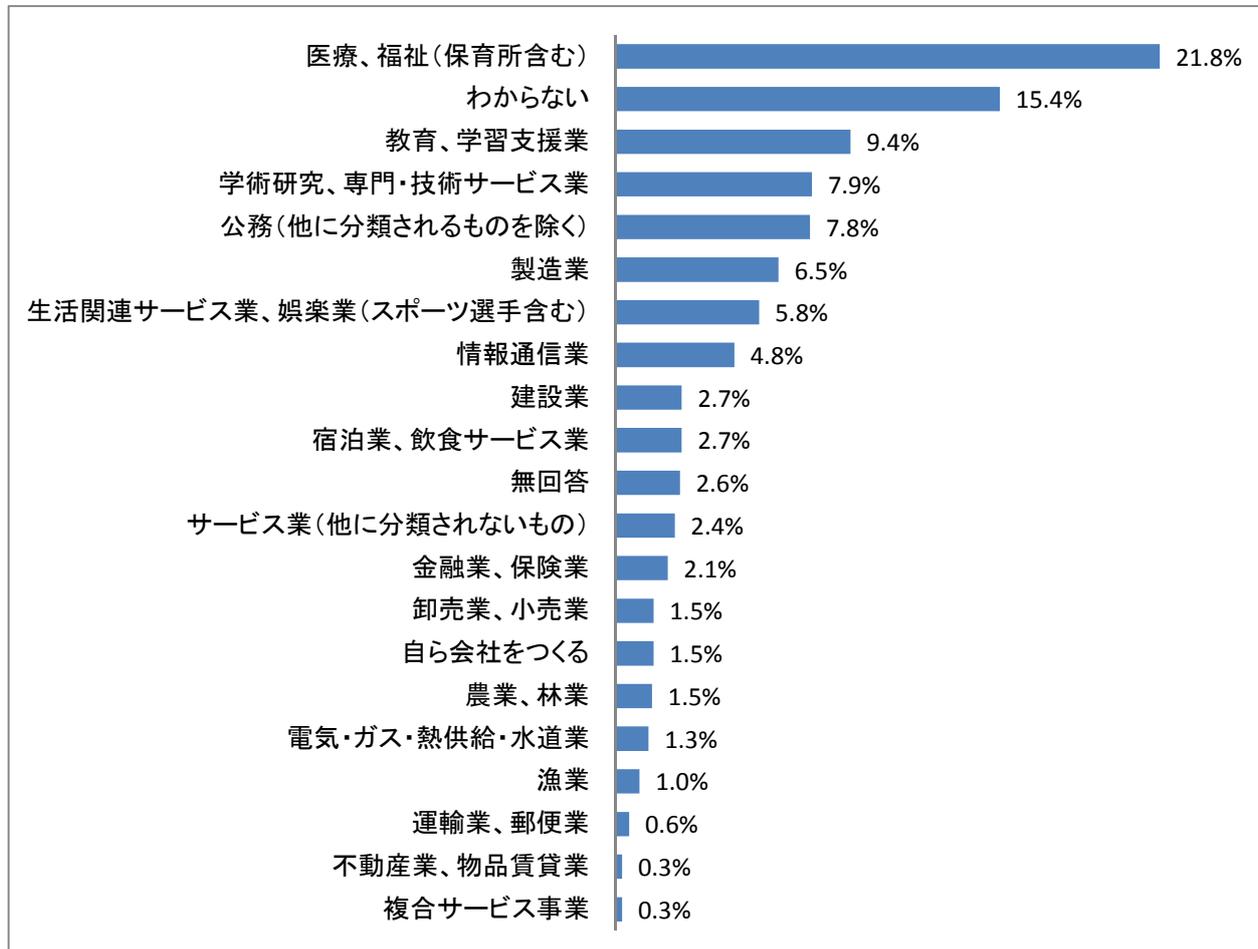


(5) 徳島県に定住したくない場合に徳島県がどう変われば住みたいと思うかについて(自由筆記)

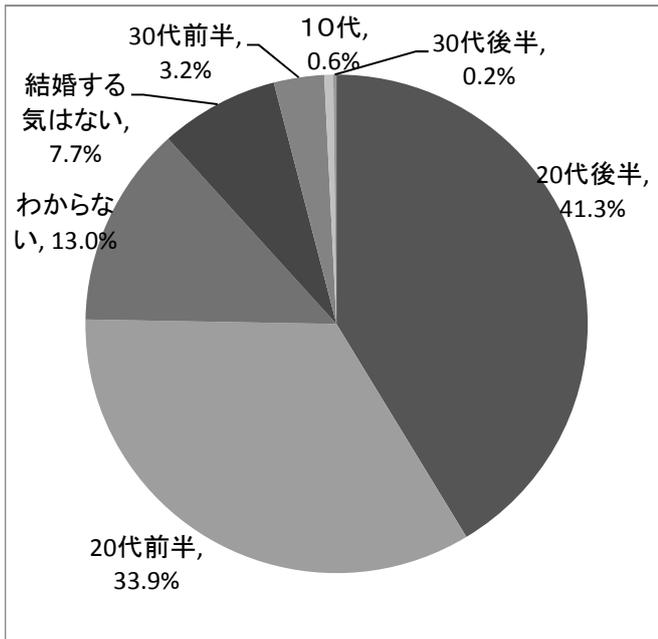
(主な意見)

- ・交通の便を良くする(車の本数を増やし、子どもからお年寄りまでの全ての世代が不便なく利用することが可能な駅に建て直すなど)。
- ・娯楽施設やレジャー施設を増やし、電車・新幹線が通るようになれば。
- ・様々な種類の学部がある大学や企業があつたり、若者が楽しめる場所や交通が便利になれば住みたい。
- ・娯楽スポットが増えたり、大手企業等の働く場所の増加、交通の便の改善が行われれば住んでもよい。
- ・子どもが外で遊べる公園や、有名なアーティストがたくさんライブに来たら良い。もっと気軽にスポーツが楽しめる所をつくってほしい。

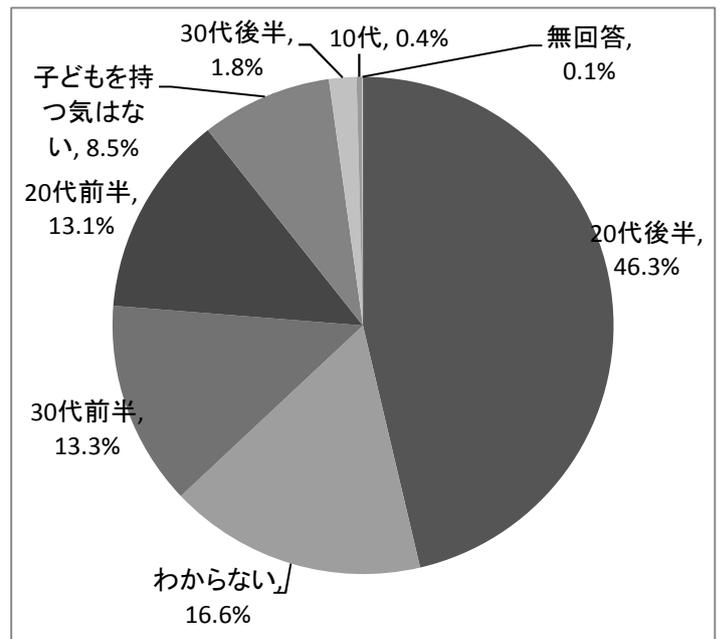
(6) 将来希望する仕事について



(7) 結婚したい時期について



(8) 子どもを持ちたい時期について



(9) 徳島県の良いところ(魅力的なところ, 自慢できること)について(自由筆記)

(主な意見)

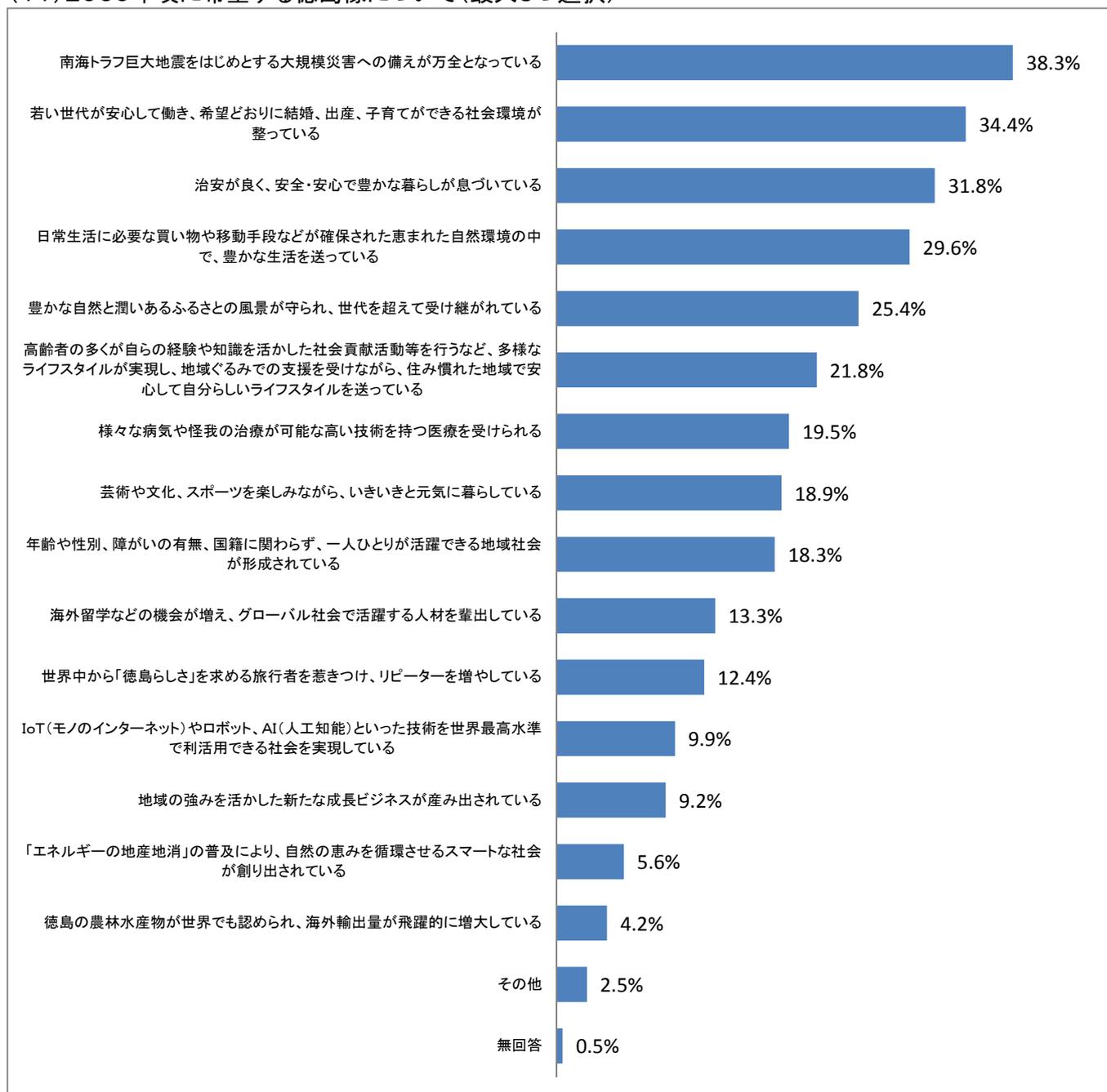
- ・豊かな自然がある。
- ・阿波おどり。
- ・優しい人が多い。
- ・近所づきあいが良い。
- ・治安が良い。
- ・食べ物(野菜・すだち、魚、ラーメン、水等)がおいしい。
- ・住みやすい(人が少なく、静か)。
- ・買い物に困らない(スーパーやコンビニが近い、物価が安い)。
- ・マチ☆アソビがある。
- ・保育施設、病院が充実。

(10) 徳島県の良くないところ(不安・不満を感じること)について(自由筆記)

(主な意見)

- ・公共交通の便が悪い。
- ・車がないと動けない。
- ・交通マナーが悪い。
- ・レジャー施設や観光スポット、大きなショッピングセンターが少ない。
- ・遊園地や水族館などの子どもが好きそうな施設がない。
- ・専門学校や大学が少なく、専門的なことを学びたい人は県外に行かなければならない。
- ・希望する就職先があまりない。
- ・南海トラフ巨大地震が不安。
- ・田舎すぎる。
- ・肥満度・糖尿病死亡率が高い。
- ・高校入試に学区制がある。

(11) 2060年頃に希望する徳島像について(最大3つ選択)



(12) 前の問いで選んだことが実現されるために、今後おおむね10年の間に徳島県、学校、企業、

そして県民のそれぞれがどのようなことに取り組んでいけばよいと思うかについて。

(自由筆記)

(主な意見)

1. 若い世代が安心して働き、希望どおりに結婚、出産、子育てができる社会環境が整っている。

・県全体で出産・子育て・就職サポートに取り組み、学校で学生の就活・進学に全力でサポートし、企業で若い社会人を社内でも育てれる安定した社会作りに取り組んでいけばいいと思う。

・若い人が積極的に行動し、地域が若い世代にとって良い環境にしていく。高齢者にとっても良くなるように両者ともに住みやすい街になるようにする。

2. 海外留学などの機会が増え、グローバル社会で活躍する人材を輩出している。

- ・もっと海外にホームステイができる機会を県内のすべての学校が増やすべきだと思う。
- ・グローバル化が進むからこそ、英語の教育にもっと力を入れ、留学などの貴重な経験をたくさんの方がするべき。お金の補助や信用できる機関の確保。

3. 年齢や性別、障がいの有無、国籍に関わらず、一人ひとりが活躍できる地域社会が形成されている。

- ・人種や性別、年に関する差別等を減らし、一人ひとりを尊重していく。学生だけではなく、大人にも人権学習を再び学んでもらう。
- ・まずは、一人ひとりが意識して、差別しない。一人ひとりを「一人」と考えて、誰もが安心できるよう協力しあう。小さなまとまりから始めて、最後は徳島県全体まで広まる。みんなが個人を大切にしようとする。

4. 高齢者の多くが自らの経験や知識を活かした社会貢献活動等を行うなど、多様なライフスタイルが実現し、地域ぐるみでの支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して自分らしいライフスタイルを送っている。

- ・高齢者がどんどん増えている日本で重要なことは、高齢者だからといって限度を決めつけないことだと思う。定年退職した後でも、再就職しやすい環境を整えることが重要。企業が高齢な人が働きやすい環境をつくり、それをアピールしていけばいいと思う。
- ・高齢者の人も元気に生活ができるよう、もしものことがあったときの保障や子どもたちと高齢者の間での交流を増やし、元気に生活できるような案を考えてそれを県民で協力して実現していく。

5. 様々な病気や怪我の治療が可能な高い技術を持つ医療が受けられる。

- ・徳島県には医者が多いので、そこを生かして大きい病院をもっと作ってはどうか。そして、学校ではもっと医学部などを選ぶようなハイレベルな勉強をしてほしい。企業をもっと進んで医療に投資して欲しいと思う。
- ・県は糖尿病などの生活習慣病を少なくするために対策をしたり、県民に呼びかける。学校では病気にならないための対策法や予防の仕方を学ぶ機会を増やす。企業では社員に運動を呼びかけたりする。個人でも一人ひとりが正しい知識を持って医療に興味を持つことが大切だと思う。

6. 南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えが万全となっている。

- ・避難訓練を増やす(具体的に、県や地域全体です)。避難場所を作る(もっと高い建物を造る)。教育の一つとして、保育所ぐらいから地震について教える。いつ来てもいいように意識する。準備する。もっと真剣に考える。
- ・県は防災をより呼びかけたり、防災のための施設をつくったりする。学校は避難訓練を今までどおり続ける。企業は地震などの災害が起きたときの対処法を常に考えておく。県民は常に防災に対しての意識を持っておく。地震が来ても「なんとかなる」という考えをなくす。

7. 「エネルギーの地産地消」の普及により、自然の恵みを循環させるスマートな社会が創り出されている。

- ・人々がエネルギー循環のシステムを知り、一人ひとりが実行する。

8. 豊かな自然と潤いあるふるさとの風景が守られ、世代を超えて受け継がれている。

・各地の土地開発が進み、5～10年前にあった田畑や森林がなくなっていることがよくある。土地開発にも利点があるかもしれないが、災害などでの被害が大きくなるのではと思っている。田畑や森林ではなく、所有者不明の空き家や空き地などを有効活用するべきだと思う。それには所有者(県民)や県の協力が必要不可欠である。空き家の所有者への呼びかけや補助金などは県が行うべきだし、所有者の自覚をもつことは県民の責任だと思う。すると、豊かな自然は奪われずに多くの人々が住むことができる。

・農業体験をして興味を持ったり、自然を大切にすることを心を持ってもらう。身近な環境を大切にする。豊かな自然で観光客を増やし、その収入で、県が環境を保全する。

9. 治安が良く、安全・安心で豊かな暮らしが息づいている。

・徳島県全体で交通ルールを守り、県民が安全・安心に暮らせるように呼びかける。
・学校で、正しいマナーやルールをしっかり学ぶ。マナーを知り、自分だけでなく、他の人のことも考えて行動するようにする。

・徳島県・・・街灯などの設置場所をピックアップ(アンケートをとるのも大切だと思う)、危険なエリアなども。

学校・・・可能な限り帰宅時間を暗くなる前にし、季節なども考慮する。

企業・・・県で不足している資金の援助や企業の特性を生かしたPR込みの防犯対策などの支援。

県民・・・地元で安全ではない場所を県に伝えたり、地域ごとに小中学生との交流をすることで地元の人と学生たちの結びつきを生み、互いを見守る。

10. 徳島の農林水産物が世界でも認められ、海外輸出量が飛躍的に増大している。

・農業・漁業の後継者をもっと増やす。学校などで田植えの自習等をする。

・質の良い農林水産物を作り出すことが大切だと思う。みんなで協力して、しいたけやすだちなどの農林水産物をもっと広めていかなければならない。

11. 地域の強みを活かした新たな成長ビジネスが産み出されている。

・先日、消費者庁が徳島に来た理由の1つがインターネットを使って東京などと会議が出来るからだったそうなので、同様にして全国の企業の支社を徳島に呼んだり、徳島発の会社と他県・他国の会社を繋いだりするシステムを開発すればよいと考える。自然が多いので動植物の研究・開発の場としても役立つと思うこれらの取り組みのモデル、研究者として学生のうちから参加する。

・徳島県・・・地域の良い所を率先して県外にPRしていくこと

学校・・・地域の強みを学ぶ機会を設けること

企業・・・徳島県の強みをどうビジネスにつなげられるか考えること

県民・・・一人一人が徳島県の魅力を自覚し、またそれを共有していくこと

12. IoT(モノのインターネット)やロボット、AI(人工知能)といった技術を世界最高水準で利活用できる社会を実現している。

・徳島県は通信環境が整えられているので、それを生かし、レベル5の「自動運転モデル都市」を県として世界に先駆けて実現していくべき。5年以内で5Gを生かして、三好・池田など県西部の高齢者の多い地域に自動運転バスなどをいち早く導入して世界のモデルとなってほしい。

・これからも、徳島県の高齢者率は多くなると思うので、もっと技術的に発達していくようにしたいと思う。

13. 日常生活に必要な買い物や移動手段などが確保された恵まれた自然環境の中で、豊かな生活を送っている。

・徳島県・・・バスや電車を発達させる。
学校・・・それぞれの地域の歴史や伝統の教育を授業にもっと組み込む。
企業・・・大企業などと契約し、グローバル化を図る。
県民・・・若い世代へ伝統を受け継ぐ姿勢を見せる。

・徳島県のためには、ゴミ問題の解決が必要。不法投棄されたゴミは、景観を損ない、プラスチックなどのゴミは、埋める場所がない。これを解決するためには、幼い頃からゴミの分別や、ポイ捨て禁止を覚えさせる必要がある。また、企業は、分解できるプラスチックか再利用可能なビンを積極的に使用する必要があると思っている。

14. 芸術や文化、スポーツを楽しみながら、いきいきと元気に暮らしている。

・芸術の部分では、「アニメの街」と言っている地域があり、「マチアソビ」というイベントも実施しているが、「アニメの街」と言うには少し弱い部分があると思う。県外からの観光客を集めるのに阿波おどりがあるように、もっと推進してもいいと思う。また、スポーツでは、徳島の糖尿病患者が多いことは有名であり、もっとスポーツをできる施設を建設し、イベントを開催し、県民自らが盛り上げるなどできたらいいと思う。

・何かに取り組んで、世界に認められることも大切だと思うけど、まずは住んでいる人たちが徳島の文化や伝統を楽しむのが一番だと思う。そうすれば自然に魅力を伝えられると思う。

15. 世界中から「徳島らしさ」を求める旅行者を惹きつけ、リピーターを増やしている。

・小さい時から徳島の魅力を考える機会を学校で設ける。一人ひとりが徳島の魅力を理解・他の人に説明できる。自分の自慢になったらもっと徳島をよくするためにどうしたいかといけないうかを考える人が増えると思った。企業と高校生、中学生とのインターンシップや関わりを持つことが大切だと思う。徳島には何も無い、魅力が無いという考え方を減らす、なくしていかないといけない。

・徳島県に住んでいる人達がまず、徳島の良い所を知り、県や企業などがそれを積極的に他県や海外へアピールをする。県民も徳島へのリピーターが増えるよう環境を整える。

16. その他

・人口の減少を防ぐには、まず、どんな人が徳島に来てほしいか考え、その来てほしい人がよく使うものや、人気のありそうなものをつくれればいいと思う。

・約40年後には過疎化が進み、徳島はさらに衰退すると思う。徳島の目玉となる何かを作る。徳島が好き、残りたい、住みたいと思う人を増やす教育を行う。

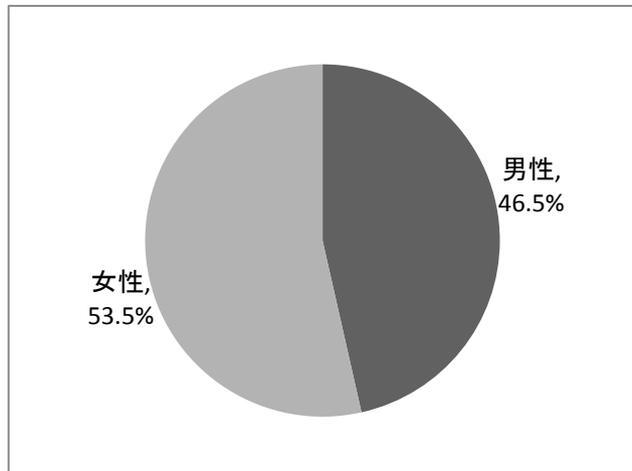
徳島県に関する県内大学生アンケート

1. 調査対象 県内の大学に在学する学生

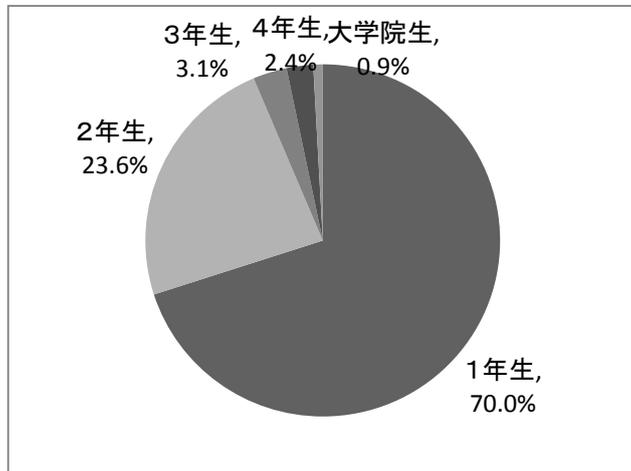
2. 調査数 454人

3. 調査対象の構成

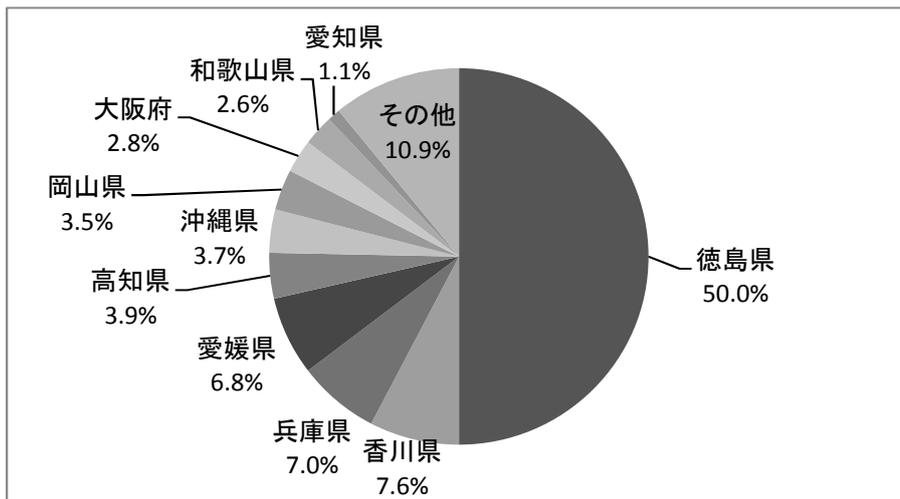
(1)性別



(2)学年

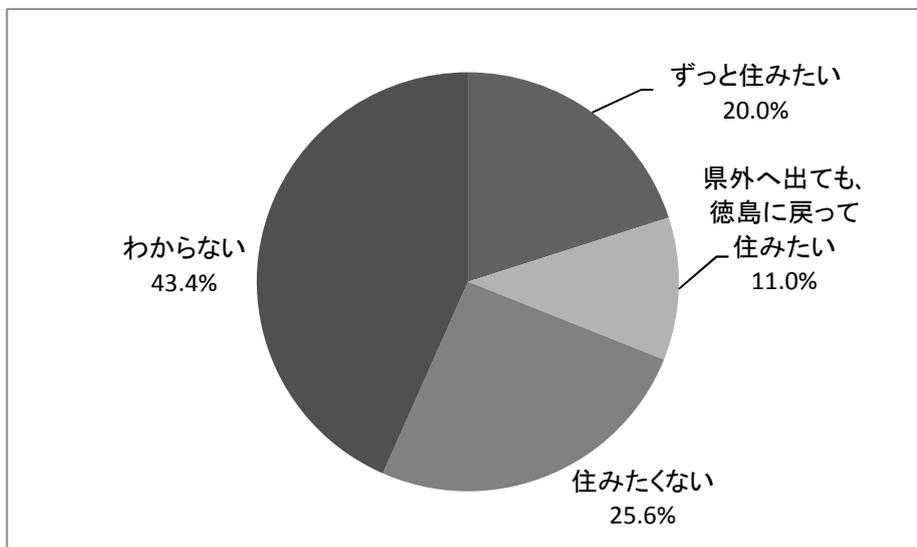


(3)出身地

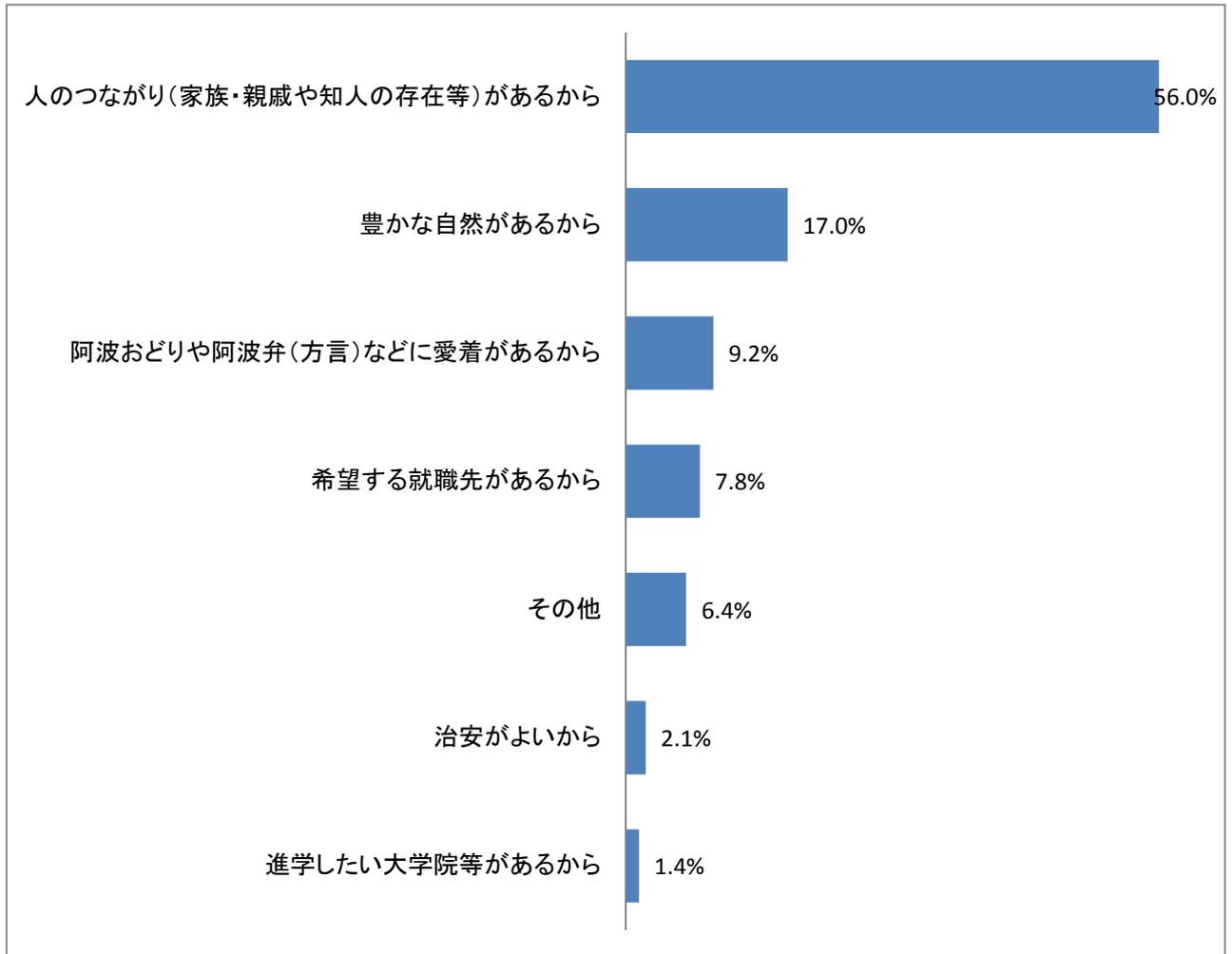


4. 調査結果

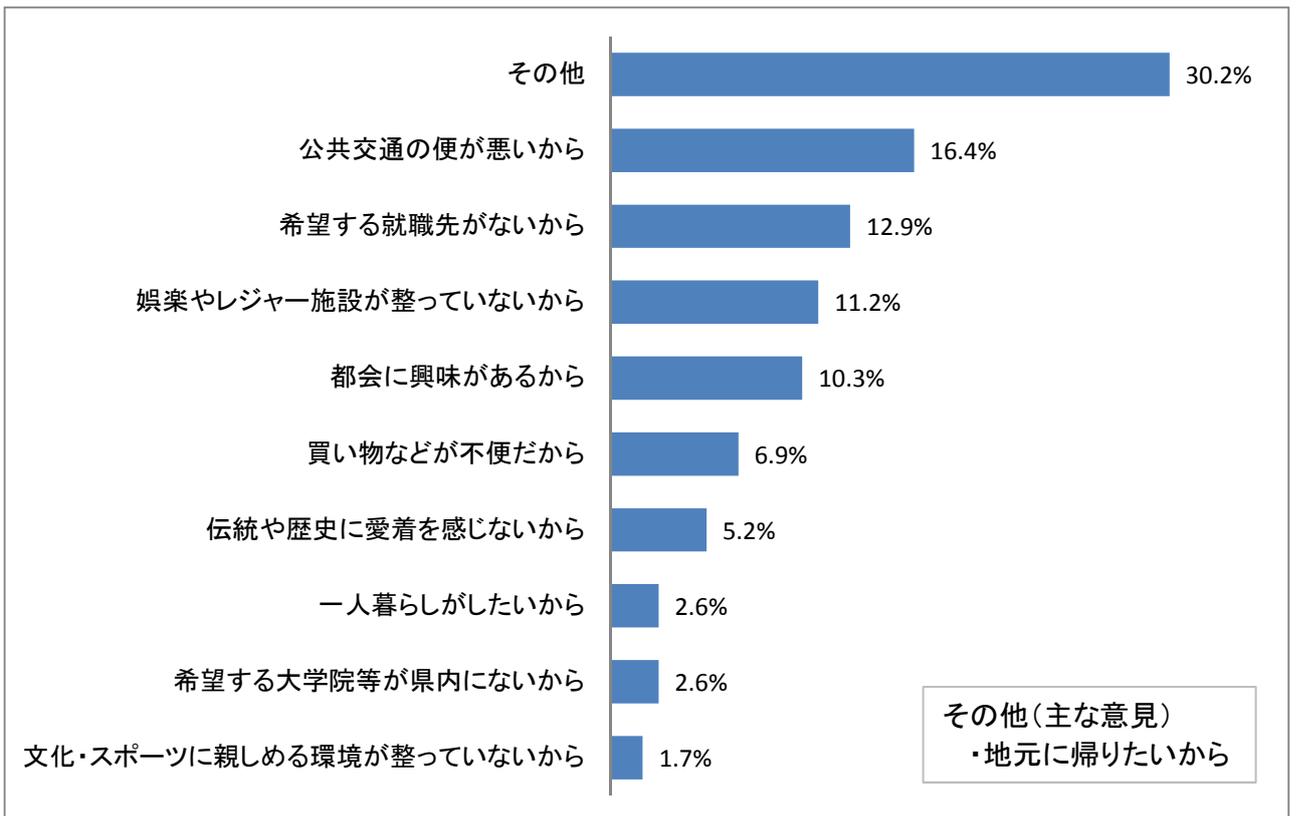
(1)徳島県への定住志向について



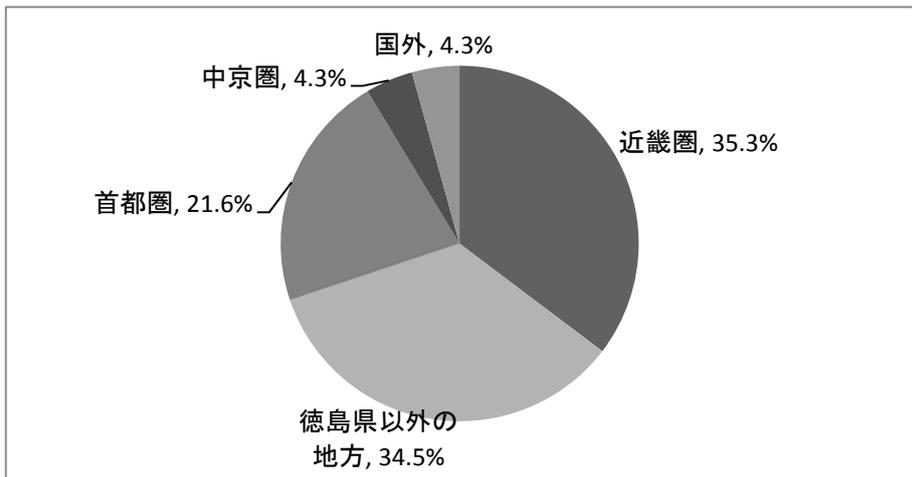
(2) 徳島県に定住したい理由について



(3) 徳島県に定住したくない理由について



(4) 徳島県に定住したくない場合に希望する居住地について

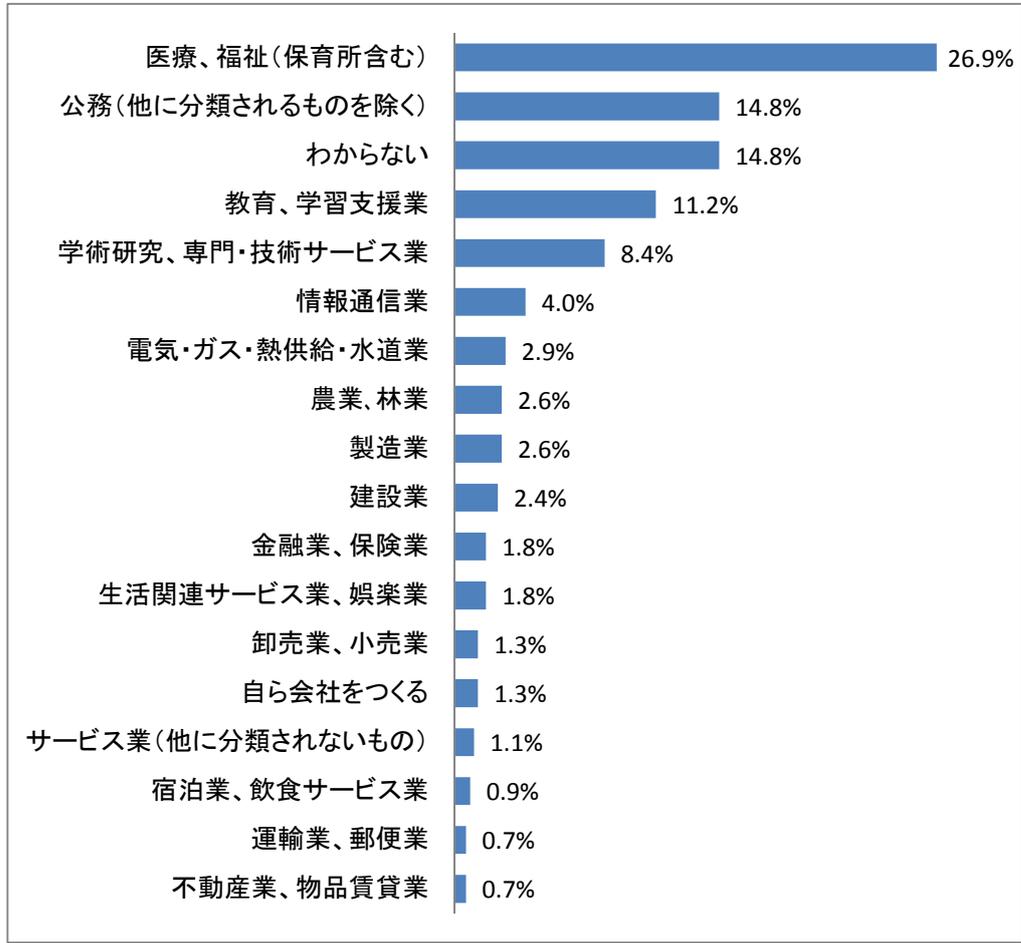


(5) 徳島県に定住したくない場合に徳島県がどう変われば住みたいと思うかについて(自由筆記)

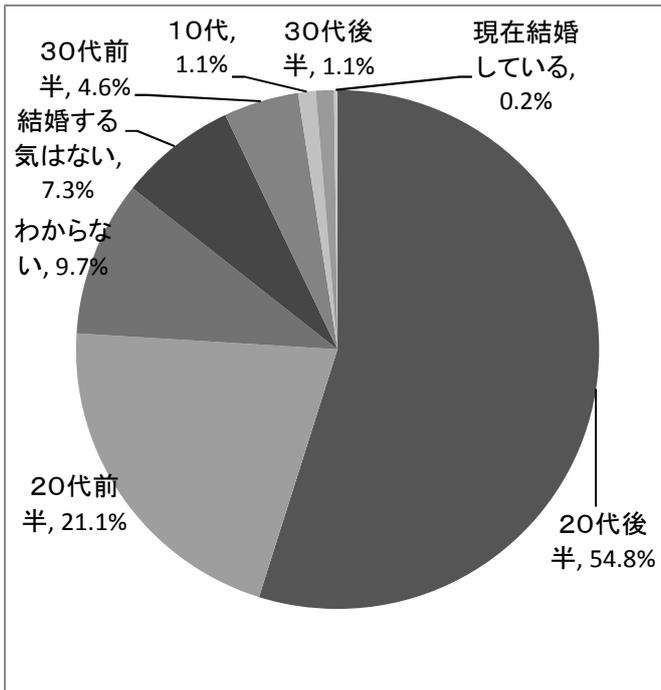
(主な意見)

- ・新幹線開通。公共交通機関の充実。娯楽施設を増やす。
- ・私は大都市の物量、情報量などに魅力を感じている。しかし徳島が大都市化すれば良いと考えているわけではない。徳島が徳島らしい魅力を持てば、住み続けたいと感じるかも知れない。
- ・もっと、若者が賑わうような遊び場がほしい。
- ・仕事先が少ない。様々な職種があれば良い。
- ・もっと都会になって交通の便が良くなり、イベントなどがしょっちゅう来るようになったら。
- ・伝統文化・芸能がもっと発展して、街並みが綺麗になったら。

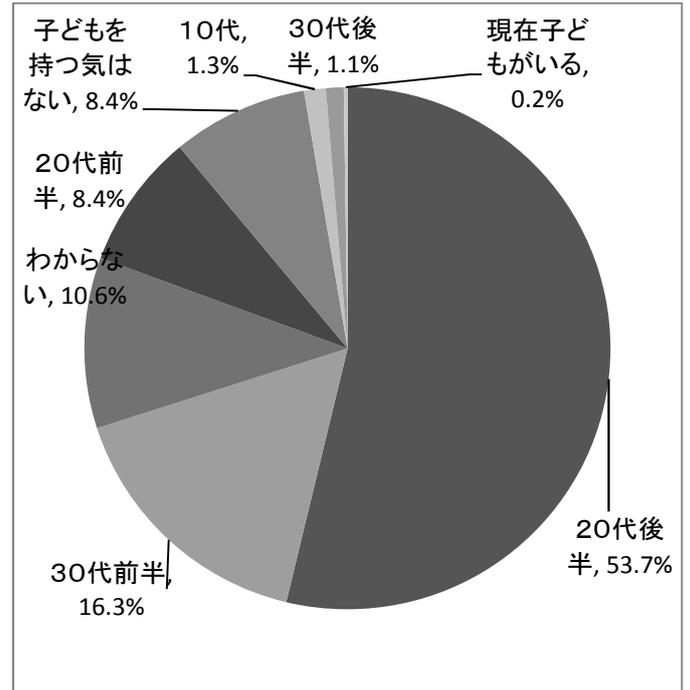
(6) 将来希望する仕事について



(7) 結婚したい時期について



(8) 子どもを持ちたい時期について



(9) 徳島県の良いところ(魅力的なところ, 自慢できること)について(自由筆記)

(主な意見)

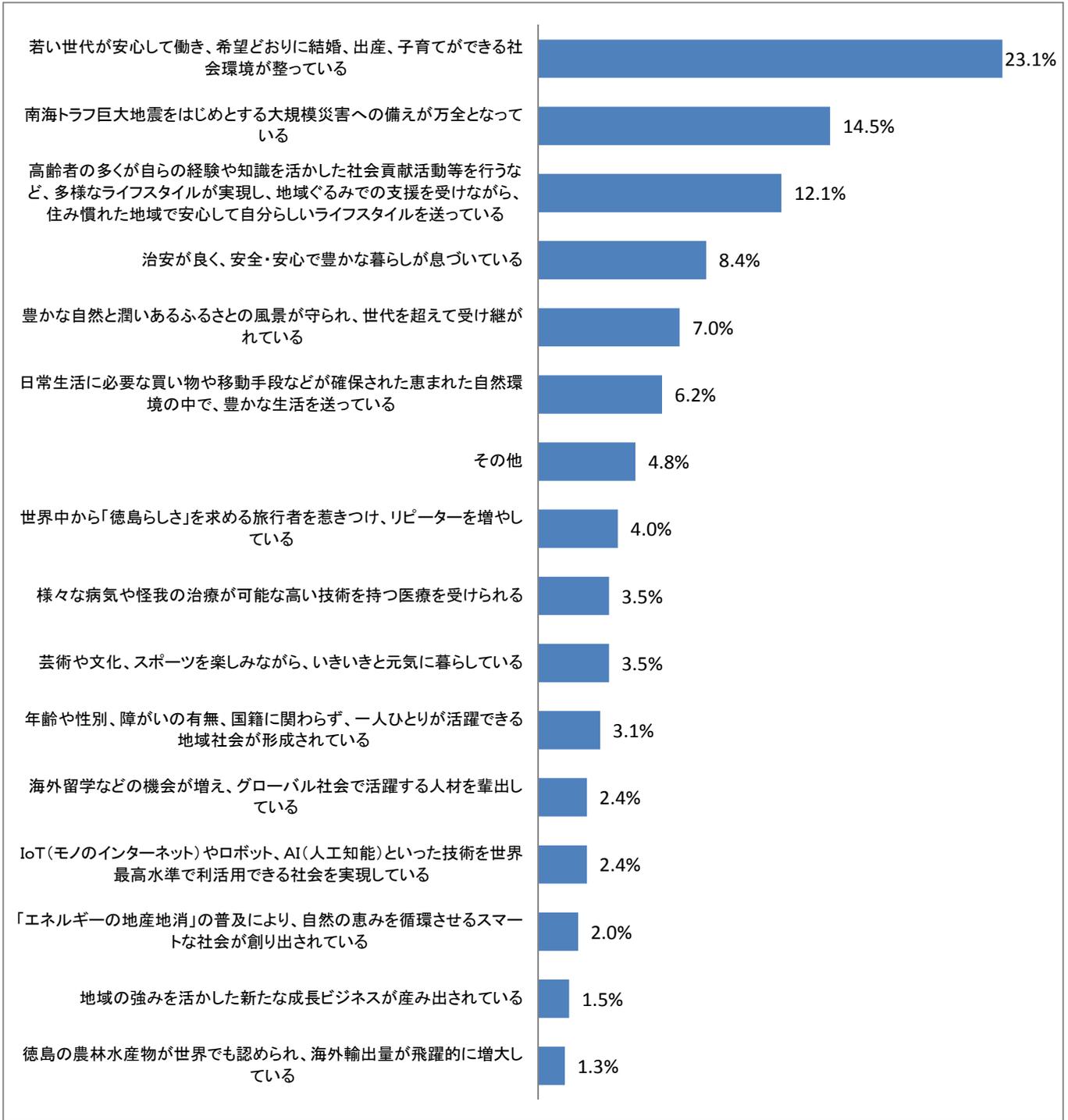
- ・自然が豊か。
- ・阿波おどり。
- ・優しい人が多い。
- ・地域のつながりがとても深い。
- ・食べ物(魚介類、鳥、卵等)がおいしい。徳島ラーメン。すだち。
- ・治安が良い。
- ・生活がしやすい。
- ・マチ☆アソビがある。アニメ文化などのサブカルチャーに理解がある。
- ・静かで落ち着いているところ。
- ・伝統文化が素敵なおとこ。阿波藍や阿波おどりがあ限り離れたくない。

(10) 徳島県の良くないところ(不安・不満を感じるこ)について(自由筆記)

(主な意見)

- ・交通の便が悪い。
- ・車がないと移動しづら。
- ・交通マナーが悪い。
- ・レジャー施設や観光スポット、大きなショッピングセンターが少ない。
- ・田舎すぎる。
- ・人口減少、過疎化。
- ・何もないところ。
- ・風が強い。
- ・南海トラフ巨大地震が発生すると言われていところ。
- ・希望する就職先が少ない。

(11) 2060年頃に希望する徳島像について



(12) 前の問いで選んだことが実現されるために、今後おおむね10年の間に徳島県、学校、企業、

そして県民のそれぞれがどのようなことに取り組んでいけばよいと思うかについて。

(自由筆記)

(主な意見)

1. 若い世代が安心して働き、希望どおりに結婚、出産、子育てができる社会環境が整っている。

・若い世代が結婚、出産を渋っている理由として、出産、子育てを終えた後で仕事に復帰できなかったり、子育てするためのお金が今現在稼げないことが挙げられると思う。非正規雇用が増えている現代で安定した収入を得ることが少子化対策になると思うので、非正規雇用ではなく正規雇用が増えるといいと思う。

・地域全体で子どもを育てていくという環境づくり。

2. 海外留学などの機会が増え、グローバル社会で活躍する人材を輩出している。
 - ・徳島県へのホームステイの受け入れをもっと多くしたり、交流をもっと盛んにする。また、語学をもっと積極的に学び、語学のその先にはいろんな世界が広がっていることを知ることが大切であるとする。
 - ・姉妹校の提携、阿波おどりを通した国際交流。
3. 年齢や性別、障がいの有無、国籍に関わらず、一人ひとりが活躍できる地域社会が形成されている。
 - ・古い固定観念にとらわれるのではなく、若い世代がしっかりと多様性に理解を深め、次世代に受け継いでいく必要がある。
 - ・学校教育で偏見をなくすよう徹底する。障がいを持った人、外国人などが気持ちよく働ける環境づくりをする。
4. 高齢者の多くが自らの経験や知識を活かした社会貢献活動等を行うなど、多様なライフスタイルが実現し、地域ぐるみでの支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して自分らしいライフスタイルを送っている。
 - ・徳島は少子高齢化が進んでいるので、高齢者と若者が交流をして助け合っていけばいいと思う。定年退職した人などでまだ働きたいと思っている人などが働けるようにしたりすればいい。
 - ・高齢者施設を今より増やす、バリアフリーを全面的に進め、高齢者の障がい者や車椅子などの人たちでも気軽にそして安全に過ごせる都市にしてほしい。
5. 様々な病気や怪我の治療が可能な高い技術を持つ医療が受けられる。
 - ・研究、勉学をもっと取り入れて進めてほしい。
 - ・高い技術を持った人間を増やす。
6. 南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害への備えが万全となっている。
 - ・耐震工事や防災訓練をしっかりとっていくことが大切だと思う。
 - ・近いうちに災害は必ず起こると考えられているから住民一人ひとりにどんなことをすればよいか説明して災害への備えはきちんとしておくべきだと思う。
7. 「エネルギーの地産地消」の普及により、自然の恵みを循環させるスマートな社会が創り出されている。
 - ・県民一人ひとりがエネルギーについて関心を持ち、自ら考え、県に対して要望する。
 - ・県全体で一丸となって問題に取り組む。色々な取組はもうすでに考えられてるので、それを人々に広めて知ってもらう。
8. 豊かな自然と潤いあるふるさとの風景が守られ、世代を超えて受け継がれている。
 - ・自然エネルギーをより導入し、自然を生かした自然都市を創造する。
 - ・徳島には、大きなショッピングモールや、遊園地があるわけではないので、自然を守りそこで勝負していくべきだ。自然を守るために、私の地元(県外)は、とてもゴミの分別の種類が多い。面倒だが、これからの徳島のために分別を増やし、ゴミの処理をしやすくしたり、大学で行われている、ボランティアの授業をもっと活用すると思う。
9. 治安が良く、安全・安心で豊かな暮らしが息づいている。
 - ・治安がいいのが1番。田舎の1番の良さは安全安心に豊かな暮らしができることだと思う。だから、県外などバリバリ働く時代を過ごしたあとに安心なところで住めるような場所、それが徳島であつたらいいと思う。
 - ・一人ひとりが規則を守る。他者に対して思いやりを持って接する。

10. 徳島の農林水産物が世界でも認められ、海外輸出量が飛躍的に増大している。

- ・徳島のワカメやすだち等をもっと他県のみならず世界に発信して欲しい。
- ・企業を他県から呼び農業をする。また児童生徒が農林水産業の仕事について理解し研究できるよう、学校の総合的な学習の時間などを利用し興味を持たせる取組を実施する。

11. 地域の強みを活かした新たな成長ビジネスが産み出されている。

- ・徳島について知ることから始める。学校の授業に取り入れる。
- ・地域を観察し、考える。

12. IoT(モノのインターネット)やロボット、AI(人工知能)といった技術を世界最高水準で利活用できる社会を実現している。

- ・小学校からパソコンを使った授業(簡単なプログラムからネットリテラシーなど)を実施して、ITに興味を持ってもらい、徳島からITに精通した人材を育成していく。また、そのための資金援助も積極的に行う。そのために、親世代にITの必要性を説明し理解を得ていく。
- ・まず新しい技術に対する抵抗をなくす事が先決であり、そのためには小学校からの情報教育の発達が不可欠である。その上で機械技術に疎い高齢者世代、また機械を十全に使いこなせると自身の能力を過信している若年層への技術の周知、伝授が必要であると考えます。

13. 日常生活に必要な買い物や移動手段などが確保された恵まれた自然環境の中で、豊かな生活を送っている。

- ・交通機関が少ないのは利用する人が少ないからだ。もっと県民は交通機関を利用するべきだし、逆に交通の方も時間を増やしていくべきだと思う。バス停や駅まで歩くだけでも運動になるし運動すると糖尿病の予防にもなると思う。徳島は車を持っている人が多すぎる。一家に3台4台は普通である。交通機関が増えないと不便で人は利用しようとしなない。人が利用しないから交通機関は減っていく。この繰り返しである。そしてその状況を変えようとしなないから現在も変わっていない。
- ・高齢者が増え続けているため、どんな世代にも対応した移動手段の普及が広がれば良いと思う。

14. 芸術や文化、スポーツを楽しみながら、いきいきと元気に暮らしている。

- ・もっと施設とか増やして欲しい。自然を満喫できるアスレチックをつくるべき。
- ・阿波おどりや人形浄瑠璃といった徳島の大切な文化を残していき、それをどんどん受け継いで絶やさないようにしていければいい。スポーツはクリニックなどを行い上の人が下の人に教えて行くとスポーツのレベルが上がっていくと思う。

15. 世界中から「徳島らしさ」を求める旅行者を惹きつけ、リピーターを増やしている。

- ・地元らしさ、自然や伝統を残した形でより若者が訪れやすい、住みやすい環境を整えることが大事だと思う。(交通網を増やす、サブカルチャーと結びつけた興味を持ちやすい伝統の宣伝の仕方)
- ・県民自信が徳島県を好きになる。

16. その他

- ・無駄なお金を使わずに自然を活かした施設を作る、使っていない学校を活かして水族館をつくるなど。
- ・若者を呼ぶ魅力を作る。神山のように都会の企業を誘致することで田舎に定住してもデメリットが生まれなようなまちづくりを進める。